

一橋大学大学院経済学研究科

環境・技術ワークショップ／自然資源経済研究会（共催）

経済理論における自然概念の再検討

日時： 3月15日（火）13時～17時

場所： 一橋大学 国立東キャンパス 第3研究館 3階 共用会議室

概要：

今回は、マルクスの経済理論における自然概念に着目します。MEGA（マルクス・エンゲルス全集）の編集、とりわけ第II部門の『資本論』関係草稿の刊行と抜粋ノートを扱う第IV部門の編集の進展を踏まえ、マルクスのエコロジック的関心を明らかにするとともに、「物質代謝」という概念を通じた経済理論における自然の位置づけ、その意義と広がりについて検討します。

報告者及び演題：

13：00～14：00

斎藤幸平（ベルリン・ブランデンブルク科学アカデミー研究員）

「マルクスのエコロジー・ノート」（仮）

14：00～15：00

佐々木隆治（立教大学経済学部准教授）

「経済学批判体系における物質代謝論の意義」（仮）

15：00～15：10 （休憩）

15：10～16：00

羽島有紀（一橋大学大学院経済学研究科博士課程）

「自然の無償性と地代論」（仮）

16：00～17：00

コメント：吉田文和（北海道大学名誉教授・愛知学院大学経済学部教授）

総合討論

以上

研究会事務局： 山下 英俊（hide@econ.hit-u.ac.jp）